

ヨハネによる福音書 I 章 43～51 節

「この人には偽りがない」

「わたしは、あなたが…られる前に、…にいるのを見た」



バルトロマイ (=ナタナエル?)

ナタナエルはトマスと^{ふたご}双子である。(一注解書)

見なさい。まことのイスラエル^{じん}人だ。この人には偽りがない。(47)

わたしは、あなたがフィリポから話しかけられる前に、
いちじくの木の下にいるのを見た。(48)

ラビ、あなたは神の子です。あなたはイスラエルの王です。(49)

あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだのである。

(ヨハネによる福音書 15 章 16 節)

清水 恵三

しみず・けいぞう

1931～1987年

日本キリスト教団の牧師

農村伝道神学校の教師、校長

代理も務める



信濃村伝道所

自分の生命を捨てて、人の生命を助けた人たちの偉大さを思わずにはおれません。その事は、人を愛するということを思う時に、どこか心の底で重く重く私を引きおろします。自分の生命を捨てて、他の人の生命を救うということは、イエスさまの十字架と結びつきます。それは私にはできないという点で、いやおうなく納得できるのです。私にはできないということが、私にとって人生問題の根拠になっています。

私は、キリストが私のために私の身代わりとなって死んで下さったということを、本当は知っていません。知っていたら、苦しくて生きられないはずで、私はキリストに対して感謝しているとは言えません。本当に感謝していたら、おちおち寝てもいられないからです。しかし、だからといってキリストを知らないのでもなく、感謝していないのでもありません。変な言い方しかできませんが、私はキリストを知らないのに、キリストは私を知っていて下さると思います。私はキリストに感謝できないのに、その私をキリストは愛して下さっているように思うのです。全く虫がいい話ですが、強いて言えば、感謝できない私を受け入れて下さっているように思えて、嬉しがっているのです。・・・それが私の感謝です。パウロが「今では神を知っているのに、否、むしろ神に知られているのに」と言い換えたように、神さまは私たちの知る対象ではなく、私たちを知って下さっている主体なのだということを本当に嬉しく思います。

神さまの恵みは・・・大きく、怖るべきものなのです。(一部略)

ジャン・カルヴァン

1509～1564年

フランス生まれの神学者

ルターと並ぶ宗教改革の代表

者で、スイスで改革を行なっ

た

プロテスタントの改革派教会

はこの流れに立つ

私たちはまた、この御言葉から意味深い教えを学ばなければなりません。私たちがキリストのことを忘れていたそのときにも、キリストは私たちにその眼差しを注いでくださっていることです。であれば、きっと、こうも言えるにちがいません。私たちがキリストを離れているそのときでさえ、キリストはもう一度、私たちに御許に連れ戻してくださると。



カナ



ガリラヤ湖畔

我が子を交通事故で亡くした、アメリカの一婦人の言葉

今もって傷が疼くなか、私がなぜ皆さんのクラスに出てきて、ここに立ったかお分かりでしょうか。それは、一人の牧師の言葉を皆さんに伝えたかったからです。私が救われたのは、その先生の言葉によってだったからです。「それでいいんです。遠慮することはありません。思いっきり、神様に悪態をついたらいい。真っすぐ、正面からついたらいい。神様は、ケチなちっぽけなお方ではありません。大きなお方です。真実な叫びを邪険にされるようなお方ではありません。神様は、言葉にならないあなたの苦しみを御存じでいてくださる。嘘のない、正直なあなた自身をぶつけければいいのです」。私はこの一言で救われ、今、ここにこうしていられるのです。

清水 恵三牧師の娘さんの言葉

野尻湖畔



清水 恵三

しみず・けいぞう

1931～1987年

日本キリスト教団の牧師

農村伝道神学校の教師、校長

代理も務める

つかれた人は おとうさんと手をつなぎます。わたしも、つかれてつまずいたりしました。けれども、おとうさんと手をつなぐと、ふしぎにげんきが出てきます。おとうさんの手はとても大きくてあったかいので、とても じぶんの手があたたかくなります。

手さぐりの手を 私たちは精一杯のばして、信仰の道を進むために歩いて来ました。どこまで、どこまで一体、手がのばせたのでしょうか。・・・まだ、私の手は不安気に半開きしたまま、さし出されています。ただ、手首のところを、誰かがぐいと握っているように思えるのです。そして、少しずつ少しずつ、前にひっぱられて行くような思いがするのです。その手は温かく、強く、大きく、私の手首を完全に包んでいます。それは、私が何かにつまずいた時、しりごみしようとする時、急に力を増します。ふんわりと温かかった手が、強い手になります。

これから先、どれだけ この暗い隧道が続くか見当もつきません。しかも、この手にひかれて歩く歩き方にも まだまだ慣れていません。しかし、このような歩き方以外に 何があるのでしょうか。何ができるのでしょうか。

もうそろそろ、わが内に思い乱れることから一步を踏み出さなければなりません。・・・手さぐりの手を、神さまが支えて下さいます。羊飼いいエスさまが先導して下さいます。たとえ、手さぐりの手が力を失い、なえてしまっても、手首が握られているからです。(一部略)